

製品名: COX82 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09283**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	COX8A
別名	Cytochrome c oxidase subunit 8A, mitochondrial (Cytochrome c oxidase polypeptide VIII-liver/heart;Cytochrome c oxidase subunit 8-2)
遺伝子 ID	1351.0
SwissProt ID	P10176
免疫原	ヒト COX82 由来の合成ペプチド AA 範囲: 10-90

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は呼吸鎖の終末酵素であり、シトクロム c から分子状酸素への電子伝達と、ミトコンドリ

ア内膜を横切るプロトン電気化学的勾配の生成を結びつける。触媒機能を果たすミトコンドリアにコードされる3つのサブユニットに加えて、この真核生物酵素は核コードされるより小さなサブユニットを含み、その数は一部の生物では4個、哺乳類では10個に及ぶ。核コードサブユニットが触媒機能の調節に関与している可能性が示唆されている。この遺伝子は、核コードサブユニットの1つをコードしている。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: このタンパク質は、ミトコンドリア電子伝達の終末酸化酵素であるシトクロムc酸化酵素の核コードポリペプチド鎖の1つである。類似性: シトクロムc酸化酵素VIIIファミリーに属する。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を1:200に希釈した(4°Cで一晩)。2、抗原賦活化にはTris-EDTA、pH9.0を使用した。3、二次抗体を1:200に希釈した(室温、30分)。